



※写真は本文・テーマとはいっさい関係ありません

### ■ 第三章 ■ 女である部分をめぐって 〈女子中学生の性役割をめぐる意識と行動をさぐる〉

女子中学生たちが、これから後の年齢段階で対応をせまられる大きな課題のひとつは、女性であるという生物学的な運命を、どう受け入れるか、であろう。

むろん、生まれてからこの方ずっと彼女たちには、この課題が与えられてきた。いわゆる小学校高学年の性的対立時代（男子と女子とが反目し競争しあう時期）にシンボライズされるように、性別の意識はずっと存在していたはずである。しかしこれまで性別の差は、単に服装や気質や、ちょっとした行動の際に意識されたものに過ぎなかったであろう。しかし、小学校高学年から、身体的な成熟がお

とずれる。生理の開始と共に、女の子たちは、女性である自分、将来母親として子どもを産み育てなければならない自分の運命に、あらためて直面する。しかも女性役割はそればかりではない。女性的とされている性格や行動のしかた、進路（進学・就職）などを中心に、どのように自分の性別を受け入れ、どのように自分を形づくるか（人格形成を果たすか）、将来像を夢みるか、という大きな課題が提示される。しかも女性役割と言われるものは、過去の伝統的な社会のひずみを負ったものであることが多い。よく言われるように、男性の場合、性役割を受け入れる（男性として生

きる) ことと、人間として生きることに間に矛盾は少ないが、女性の場合その二つはしばしば矛盾を含んだものであり易い。

第I章で述べた、女子中学生たちのオリズムは、ある意味では、彼女たちがこれらの矛盾に出会った時に、伝統的ではあるが、多分

に問題をかかえた女性役割の内容を、そのまま無批判に受け入れてしまうことの問題点を意味していたとも言えよう。

本章では、このような課題に直面しつつある女子中学生たちの、性役割をめぐる意識と行動の周辺を探ってみようとしている。

## 1. 性役割の受け入れ

### 女に生まれたことを どう思うか

性別は、他の社会的地位と違って、本人の意志で選択したものでなく、変更や修正もできないものなので、折にふれて子どもたちは、「女(男)に生まれてソソした」のような表現をする。そして、かつての時代は、「夕涼み よくぞ男に生まれけり」の句が示すように、男性のほとんどは、男性として生まれたことを誇り、逆に女性の多くは、女に生まれてソソをしたと思うような性役割の内容が、わが国の社会に共有されていた。

しかし性役割は、年々その姿を変えつつある。部分的な変化としては、その方向が必ずしも一様でないものの、全体として性役割は、その内容をへらしつつある。すなわち、どちらの性別に生まれようが、決定的な行動上の制約はなくなりつつある。しかしむろんわれわれが、性役割から全く自由になったわけではない。不都合な部分は(一方の性別にとっ

て) まだ数多くある。

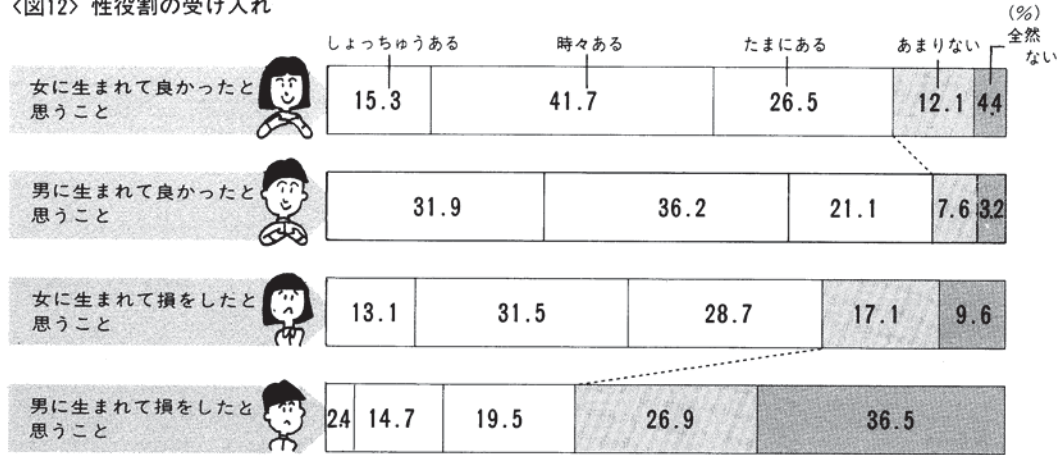
こうした点を女子生徒たちは、どう考えているのだろうか。図12にそれを示した。

まず「女に生まれてよかった」と思うことがある者は、「たまにある」者も含めると、実に84%にも達する。男子が「男でよかった」と思う割合は89%だから、ほぼ匹敵する数字である。男性ばかりでなく、女性にも住み易い世の中になったと言えるのだろうか。

しかし、だからと言って、自分の性別に、全く不満がないわけではない。「ソソしたと思うことがあるか」に対しては、女子生徒の73%、男子生徒の37%が肯定している。すなわち、男子はほぼ手放しでよかったと思っているが、女子の場合、ソソしたと思う時とトクしたと思う時が、振り子のように現れるのであろう。しかし、それにしても、女性が女性であることを、肯定できる、よい社会がわれわれの周囲に作られたのだと、みなすこともできよう。

しかしまた別の角度から見れば、このような感想は、女子生徒が、男子と方向を変え、社会的・職業的達成からオリてしまった時に、

〈図12〉 性役割の受け入れ



初めて出てくるものとも考えられる。とすると、この数字の評価には、充分慎重でなければならぬだろう。

### 手伝いをしていない

彼女たちが女性であることをこのように、かなり十分に受け入れている背景は何だろうか。

かつて、女の子たちが女性であることを、いちばん不合理に感じたのは、進学や就職の問題(社会的・職業的アスピレーションを持たなかったこと)、家事の手伝いの義務、生理のわずらわしさ、行動様式の制約(立ち居ふるまい)などをめぐってであったと思われる。

このうち、われわれのデータの中からは「手伝い」を見てみよう。表22-①は彼女たちが日常、家事の手伝いをどのくらいやっているかを11項目にわたって、記入させた結果である。まず全体に彼女たちがふだん、手伝いらしい

ことを、ほとんどしていない様子が見いだされる。多少ともしているのは、夕食時の料理の手伝い(わりとを含めて)34%、買物30%、洗濯ものたたみ29%でしかない。その他に、自分の部屋の掃除をする50%、という数字もあるが、これは手伝いではなく、自分のためにしていることである(しかしこれとでも、ほとんどしない、全くしない者が18%もいる)。それらを除いては、手伝いらしいことをしている割合はごくわずかである。むしろ男子は図13に掲げたように、それよりもっと手伝っていないが、しかしとにかく彼女たちは、少なくとも昔のように「女に生まれてソンをした」と思うほどには、家事を手伝わされてはいないようである。それが良いことかどうかは別として、少なくともこの点で彼女たちは、自分の性役割の受け入れに、それほど抵抗を感じないですむ状況があると言えよう。

(表22)－① 家事の手伝い (女子)

(%)

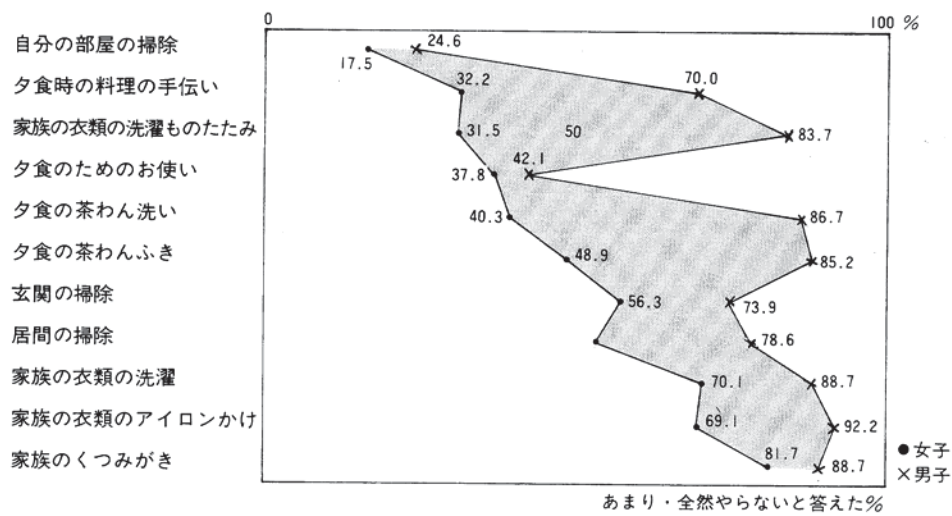
	毎日のように やっている	わりと やっている	時々 やっている	あまり やらない	全然 やらない
自分の部屋の掃除	10.9	39.2	32.4	12.9	4.6
	50.1			17.5	
夕食時の料理の手伝い	12.5	21.0	34.3	23.9	8.3
	33.5			32.2	
家族の衣類の 洗濯ものたたみ	5.2	24.2	39.1	19.9	11.6
	29.4			31.5	
夕食のためのお使い	5.2	24.8	32.2	24.9	12.9
	30.0			37.8	
夕食の茶わん洗い	8.6	16.3	34.8	26.3	14.0
	24.9			40.3	
夕食の茶わんふき	7.7	14.7	28.7	28.3	20.6
	22.4			48.9	
玄関の掃除	2.0	11.4	30.3	32.9	23.4
	13.4			56.3	
居間の掃除	2.2	12.3	32.2	29.7	23.6
	14.5			53.3	
家族の衣類の洗濯	1.3	5.4	23.2	33.7	36.4
	6.7			70.1	
家族の衣類のアイロンかけ	1.1	9.0	20.8	32.3	36.8
	10.1			69.1	
家族のくつみがき	1.2	5.9	11.2	20.2	61.5
	7.1			81.7	

(表22)－② 手伝いをどのくらいやっているか (男子)

	毎日のように やっている	わりと やっている	時々 やっている	あまり やらない	全然 やらない
自分の部屋の掃除	6.5	30.9	38.0	15.2	9.4
夕食時の料理の手伝い	3.5	5.9	20.6	30.5	39.5
家族の衣類の洗濯 ものたたみ	1.7	2.6	12.0	22.6	61.1
夕食のためのお使い	5.1	17.7	35.1	19.3	22.8
夕食の茶わん洗い	1.9	1.6	11.3	24.7	60.5
夕食の茶わんふき	2.1	0.9	10.3	21.2	65.5
玄関の掃除	1.1	6.3	18.7	28.4	45.5
居間の掃除	1.2	3.0	17.2	24.5	54.1
家族の衣類の洗濯	0.5	1.9	8.9	17.1	71.6
家族の衣類の アイロンかけ	0.9	1.0	5.9	16.6	75.6
家族のくつみがき	0.9	3.0	7.4	12.3	76.4

(%)

〈図13〉 手伝いをしない生徒の男女比



## 2. ブルーデイ(生理)をめぐって

### 小学校時代に45%

さて次に、女性特有の体の変化、いわゆるブルーデイの実態を見て行くことにしよう。昔は、栄養条件や生活条件がわるく、また生理用品(薬品を含めて)が貧弱だったために、その期間は女性たちに大きな負担となり、行動の制約をもたらしていたらしい。それがひいては、女性の社会的行動や意識に、大きな影を与えることになっていったと思われる。今はどうだろう。

まず表23は、初潮を迎えた時期である。小

(表23) ブルーデイが始まった時期 (%)

4年生(またはそれ以前)	1.4
5年生	10.3
6年生	33.4
中1	32.4
中2	5.6
まだない	16.9

学生時代に初潮を体験した者が45%。体位の向上の結果として、人生のかくも早い時期に、女性としての自分の運命を見つめさせられる。それは、彼女たちの意識や人生観に、少なからぬ影響を与えるであろう。できることならこうした運命は、何の構えもないままある日突然におとずれるのではなく、何らかの人生観や自我の確立の後にやって来ることが望ましいのではなからうか。初潮の時期を遅らせる

ことはできるはずもないが、せめてその前に、手当ての方法や体の仕組みの説明ばかりでなく、何らかの人間観人生観を育てる教育が、もう少しなされていたらと思う。

また表24には、その期間を掲げた。6日以上の生徒が61%という数字は、なんとも長く、心痛む数字である。

(表24) ブルーデイは何日続くか (%)

4日以内	11.8
5日間	27.0
6日間	17.6
7日間	33.9
8日以上	9.7

### 能率の落ちる日がある者17%

ブルーデイの日々は、彼女たちにとって、心理的生理的に、どのぐらいの不快感を伴うのだろうか。表25は、生理痛についてである。全体の22%は、「とてもひどい日がある」と答え、1年生より2年生にその傾向がふえていく。

次に図14は、勉強の能率が落ちるように感ずる日の有無で、全くない者は33%にすぎない。また図15は、スポーツをしないようにしている日の有無で、全然ない者は38%。以上をまとめるとやはりブルーデイの日々が多少とも行動上の制約をもたらしている様子がわかる。

(表25) ブルーディに腹痛や腰痛があるか (%)

	ほとんどない	すこしある	とてもひどい日がある
1年	31.2	49.6	19.2
2年	22.0	53.1	24.9
全体	27.1	51.3	21.6

<図14> ブルーディに勉強の能率が落ちる日 (%)

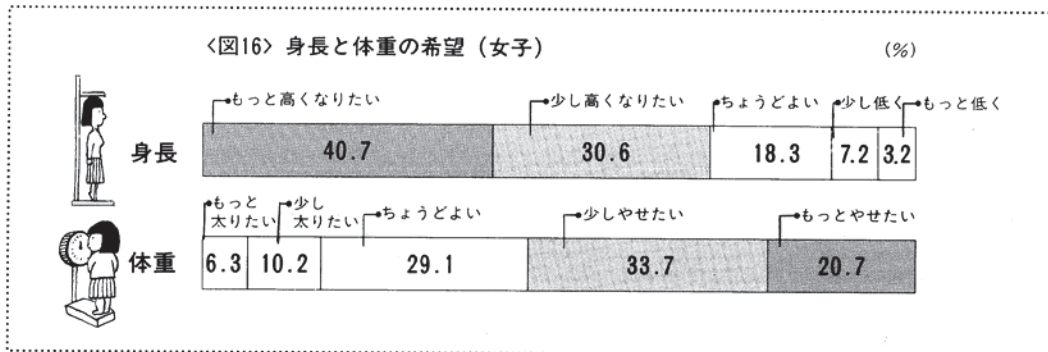
(ある) 17.1	(あまりない) 49.9	(全然ない) 33.0
-----------	--------------	-------------

<図15> ブルーディにスポーツをしない日 (%)

(ある) 15.9	(あまりない) 46.4	(全然ない) 37.7
-----------	--------------	-------------

### 3. オシャレについて

<図16> 身長と体重の希望 (女子) (%)



もっとやせたい者が  
54%

女性とオシャレはいつの時代も切り離せないものと言われるが、次に彼女たちのオシャレ意識について見てみよう。

まず身体への関心を見たのが、図16である。身長に関しては

- もっと高くなりたい……………71%
  - ちょうどよい……………18%
  - もっと低くなりたい……………11%
- である。体重については

- もっとやせたい……………54%
- ちょうどよい……………29%
- もっと太りたい……………17%

と答えている。スラリとした長身の体型が、彼女たちの理想であり、それへの願望を持つ

ている様子がわかる。ちなみに彼女たちの、理想の身長は、表27のようになっており、また体重については、表28のような減量を望んでいることも見いだされる。

しかし面白いのは、こうした理想は理想のまま、それを達成するための努力にまでは至っていない点で、彼女たちのオシャレ欲求も、

まだそれほど強いものではないようだ。表29によれば、「やせるための努力をいつもしている者」は、わずか2%に過ぎず、「わりと気をつけている」を含めても、19%でしかない。しかし学年を追うと、1年より2年生に、努力する者の割合がふえている(結果は省略)。

(表26) 身長と体重 (女子)

		(%)			(%)
身長	149cm 以下	15.8	体重	39kg 以下	15.2
	150cm ~ 153cm	24.8		40kg ~ 44kg	29.4
	154cm ~ 156cm	23.6		45kg ~ 49kg	31.1
	157cm ~ 160cm	23.5		50kg ~ 54kg	16.2
	161cm 以上	12.3		55kg 以上	8.1
	平均	154.5cm		平均	45.3kg

(表27) おとなになった時の理想の身長は (女子)

					(%)
153cm以下	154~156cm	157~160cm	161~165cm	166cm以上	
0.9	3.1	41.5	42.7	11.8	
平均162cm					

(表28) 少しやせたい、もっとやせたいと答えた人は何kgぐらいやせたいか (女子)

					(%)
1~2kg	3~4kg	5~6kg	7~10kg	それ以上	
15.8	32.7	30.3	10.1	11.1	

(表29) 太らないよう減量しているか (女子)

	(%)			
	いつも気をつけている	わりと気をつけている	あまり気をつけていない	全然気をつけていない
1年	1.7	15.3	38.0	45.0
2年	2.9	19.3	39.1	38.7
全体	2.1	17.0	38.4	42.5



(表30) オシャレ用品を持っているか (女子)

(%)

	使っている	持っているが使っていない	欲しい	欲しくない
透明なリップクリーム	60.8	19.0	7.3	12.9
ほんの少し色のつくリップクリーム	25.6	16.2	15.8	42.4
化粧水や乳液	17.6	10.7	18.4	53.3
(肌色の) ストッキング	14.5	23.4	5.8	56.3
ブレスレット	9.9	31.5	16.1	42.5
イヤリング	8.4	29.4	11.9	50.3
透明なマニキュア	6.4	8.8	19.0	65.8
オーデコロン	5.9	9.1	16.0	69.0
色のマニキュア	2.8	6.1	8.4	82.7
口紅	2.4	7.5	10.3	79.8

(表31) 学年×洗顔後化粧水をつけるか (女子)

(%)

	毎日つける	時々 ごくたまに つける	つけない
1年	21.9	44.5	33.7
2年	30.6	44.9	25.5

## オシャレ用品について

おとなの女性のオシャレとは、何ととっても、化粧品や衣服で装いをこらすことだろう。彼女たちは、そうした意味でのおとなのオシャレのコースのどのあたりにいるのだろうか。

表30は、自分用のオシャレ用品の所有状況である。

中学1・2年生で、無色のリップクリームを使っている者が61%、ほんの少し色のつくリップクリーム26%、化粧水や乳液18%、肌色のストッキング15%という数字は、決して大きくはないが、「欲しい」者とあわせると

- 透明なリップクリーム……68%
- 少し色のつくリップクリーム…41%

- 化粧水・乳液……36%
- ブレスレット……26%
- 透明なマニキュア……25%
- オーデコロン……22%
- イヤリング……20%
- ストッキング……20%
- 口紅……13%
- 色マニキュア……11%

という、なかなかの数字になる。

しかし他方で、「持っていないし欲しくもない」と答える者も多い。学年を追って見るとむろん1年生と2年生とで違う。ちなみに、毎朝洗顔後、化粧水をつけるかどうかについて、学年別の数字を表31に掲げた。1年生で全くつけない者34%が、2年生では26%に減少している。中学生という時期は、1年ごとに、確実に成長や変化のきざしの現れる時期だという気がする。

## 毎日入浴する者は 54%

子どもが思春期に入ったきざしは、まず入浴時間の長さに現れると言われる。男の子も女の子も、なぜか、入浴時間が長くなる。子ども時代は、カラスの行水と言われるように、ただ親への義理で入浴していたようなものだった。それが思春期に入ると、意識的に体を洗い始めるのであろう。

このような、いわばオシャレの基本とも言うべき「身だしなみ」について見てみよう。表32によれば、男子より女子の方が、ちょっぴり入浴回数が多く、毎日入浴する者は54%。洗髪は、一部のズボラ組を除いて、男子の方がよく洗髪している。また髪を洗った後のリンスは、女子の場合82%が、毎回必ず実行している。洗顔後の化粧水やクリームについては、先に掲げたように、25%が毎日、時々が44%、全くつけない者が31%となっている。

オシャレの関心が、女の子の間ですこしずつ目ざめつつある様子が、うかがわれるが、むろん個人差も大きいようである。

## 規則のワク内での ひそかなオシャレ

さきに彼女たちの制服に対する受け入れが、思いの外よいことを見てきたが、いわば個性の無視された状況とも言える中で、彼女たちのオシャレ心もまた抑えられているのだろうか。

この点を明らかにするデータが、図17である。決められたワクの中で、それなりの自己主張の苦心が現れている。また学年を追うにしたがって、その苦心がより多くなって行く様子が、表34に現れている。

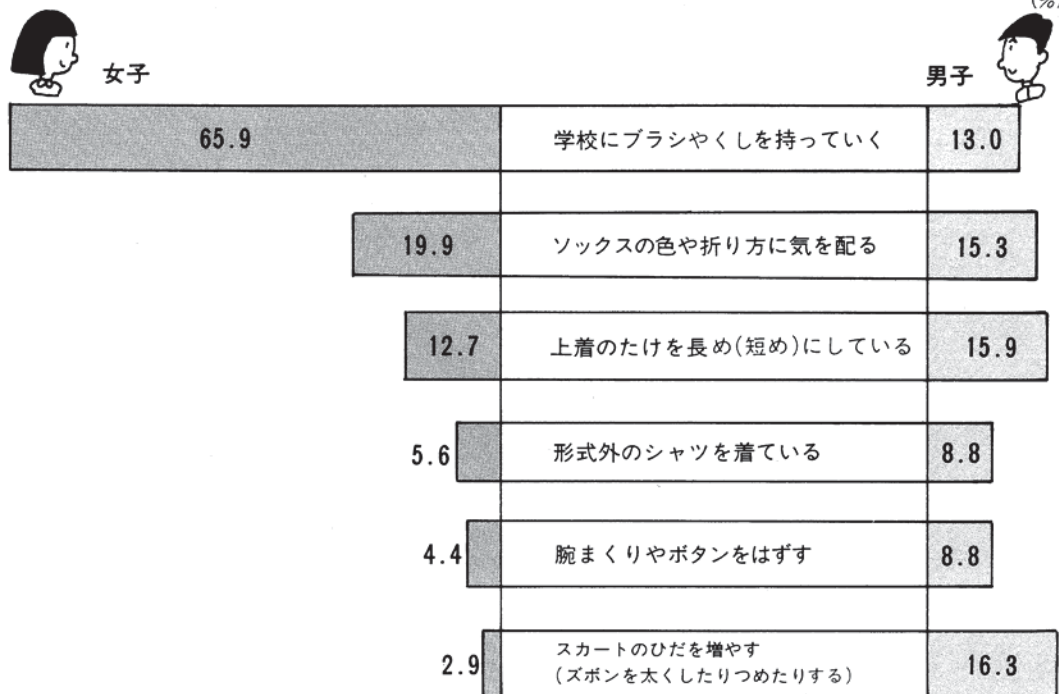
(表32) 身だしなみ

入浴状況	入浴状況 (%)	
	女子	男子
毎日	53.9	49.7
入る日の方が多い	22.2	24.7
1日おきぐらい	23.9	25.6

洗髪状況	洗髪状況 (%)	
	女子	男子
毎日	10.3	24.5
2日に1回	56.6	43.5
3日に1回	24.9	18.1
4日以上に1回	8.2	13.9

洗髪後のリンス (女子)	洗髪後のリンス (女子) (%)
	毎回
時々	9.8
ごくたまに	4.0
つけない	4.5

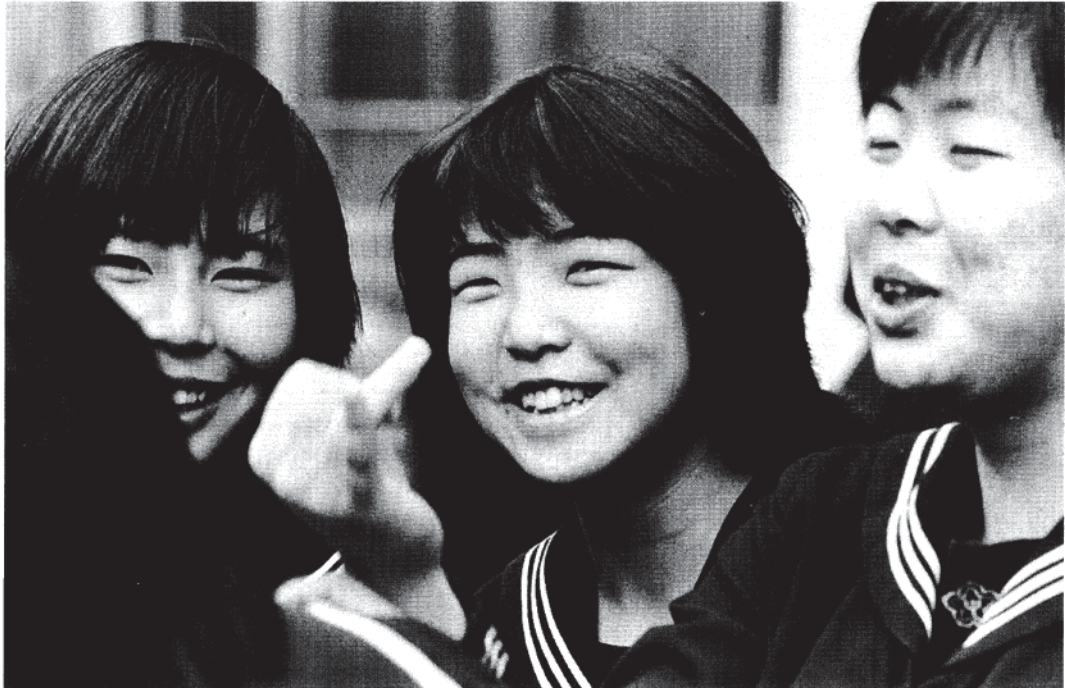
〈図17〉 制服のくふう



(表34) 学年×制服のオシャレ (女子)

(%)

		はい	いいえ
上着の丈を長め(短め)にしている	1年	8.3	91.7
	2年	19.6	80.4
形式外のシャツを着ている	1年	2.8	97.2
	2年	9.8	90.2
ソックスの色や折り方に気を配る	1年	17.2	82.8
	2年	24.2	75.8
学校にはブラシやくしを持っていく	1年	61.4	38.6
	2年	72.6	27.4



※写真は本文・テーマとはいっさい関係ありません

## ■第IV章

## ■あこがれの未来・結婚

〈女子中学生の希望の星をさぐる〉

以上のデータの中から、われわれの前に姿を現しはじめた女子中学生像は、社会的達成からオリかけた、おとなしくてやや昔に戻った感じのする女子像であった。彼女たちは、なぜか、どうも結婚に憧れ、そこにひたすら希望をもって暮らしている感じがする。

本章では、女子中学生たちが、そんなにも望んでいる結婚というものに、もう一步近づいてみることにしよう。オリかけている彼女たちの最後の希望の星は、いったいどんな色と光を持った星なのだろうか。

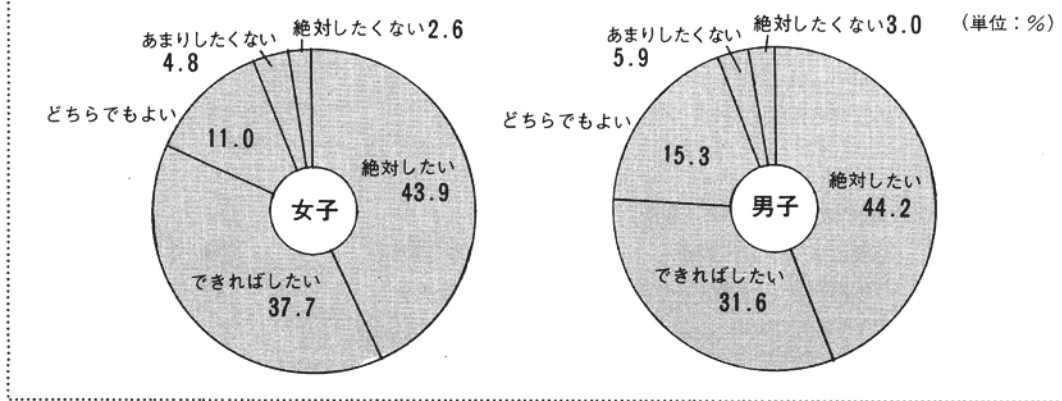
### 1. こんな結婚を

22歳までに  
結婚したい者が5割

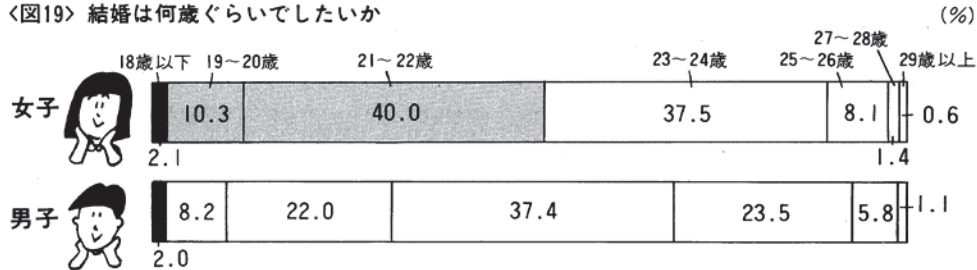
図18は「結婚をするつもりですか」という

間に対する結果である。図が示すように、82%の女子が「絶対結婚したい」「できれば結婚したい」と答えており、したくないと答えた生徒は7%に過ぎない。この数値は、当然といえば当然のようでもあるが、これまでに見

〈図18〉結婚をするつもりか



〈図19〉結婚は何歳ぐらいでしたいか



いだされた多くの結果（例えば、「就きたい職業」に関しては、24%が未定と答えているし、「向く仕事」においては、どれも自分には向かないと考えているふしが見られる）の曖昧さと比べると、「結婚」は彼女たちの未来像のうち、いちばんハッキリした現実感のある部分のように思われる。

では、将来ぜひと答えられた結婚を、何歳ぐらいでしたいのか、その結果を示したのが図19である。「18歳以下」から「29歳以上」まで数値はちらばっているが、女子は、「21～22歳」が40%、「23～24歳」が38%、となっており、この二つを合わせると、約8割となる。男子は「23～24歳」が38%、「25～26歳」が24%と、女子よりすこし山が後にズレている。しかしいずれにしても生徒たちの描く結婚年齢は、いわゆる世間的な適齢期よりも

かなり早めのようなのである。

女子について、この結果を学年別に見てみると、どういうわけか1年生より2年生の方が早く結婚したがっている。2年女子の「20歳以下で結婚したい」16%という数値の意味を考えてみよう。中学2年と言えは14歳。とすると5～6年のうちに結婚したいと思っている計算である。こう考えてみると、女子中学生にとって“結婚”は、ごく近い将来に予定しているごく当然な出来事だということになる。

次に表35は、「何歳ぐらいで結婚したいか」を、成績の自己評価別に示した。全体として成績の悪い生徒ほど早く結婚したがっている傾向が見いだされる。22歳までに結婚したい者は、成績上位群で37%、これに対して、中の上45%、中位群55%、下位群57%という数字にな

(表35) 学年×何歳ぐらいで結婚したいか(女子) (%)

	20歳以下	21~24歳	25歳以上
1年	9.8	79.0	11.2
2年	16.3	75.3	8.4
全体	12.4	77.5	10.1

<図20> 成績×何歳で結婚したいか(女子)

	20歳以下	21~22歳	23~24歳	25歳以上 (%)
●クラスで上位	7.4	29.5	44.1	19.0
●中の上 →	5.3	39.2	42.9	12.6
●中 →	10.7	43.9	37.5	7.9
●やや・かなり できない方	18.4	38.5	33.4	9.7

(表36) 結婚相手の年齢

(%)

	ずっと年下	4・5歳年下	1~3歳年下	同じ年	1~3歳年上	4・5歳年上	ずっと年上
女子	0.3	0.4	1.7	20.4	66.6	9.1	1.5
男子	0.9	5.1	56.6	32.6	4.2	0.2	0.4

っている。

この結果を、第I章での成績や教育期待(どこまで進学したいか)の数値とあわせて考えてみると、高校、あるいは短大まで進学するつもりの中・下位群は、「短大を20歳で卒業し、21~22歳で結婚」を、成績上位群は「4年制大学を22歳で卒業し、23~24歳で結婚を」と考えている様子がよく現れているような気がする。

さらに第I章で掲げた図2を思い出していただきたい。「就職をするつもりですか」の問いに対する答えは、「一生仕事を続けたい」が約2割、「子どもが生まれるまで」が約3割、「結婚するまで」が約5割であった。

ということは、「結婚するまで」と答えた5割の生徒たちが考える就職とは、わずか1~2年の就職を指していることになるし、「子


どもが生まれるまで」と答えた3割も、せいぜい3~4年の就職期間を指しているわけである。

さて、女子大生の就職に対する甘い姿勢は、腰かけ就職とよばれて、何かにつけて批判がくり返えされてきた。そこでは、社会構造上の問題とはまた別に、女子大生自らが、「女の幸せは結婚・家庭」という考えのもとに就職し、1~2年で辞めていく姿を指摘されることも多い。


研究者としてのスタートは切ったものの、ある意味ではまだ学生の延長線上にいる筆者のひとりも、「大卒の女性の就職はきびしい。まして院生である自分には」と言いながら、正直なところ心のどこかには、「それでも構わないけれど(結婚があるじゃない)」という気持ちがかくれている。

(表37) 相手にしてあげたいこと

(単位：%)



やってあげたい  
(やってもらいたい)



やりたくない  
(やってもらいたくない)

		やってあげたい (やってもらいたい)			やりたくない (やってもらいたくない)	
		とても	わりと	どちらとも いえない	あまり	ぜったい
夫より早く起きて朝食の仕度をする	女子	58.4	32.8	6.0	2.0	0.8
	男子*	55.5	33.3	9.8	—	1.4
夫のために毎日お弁当をつくる	女子	46.3	35.4	13.6	3.8	0.9
	男子*	43.9	27.4	27.3	0.5	0.9
夫が出勤する時、玄関まで見送る	女子	45.9	31.4	17.7	3.6	1.4
	男子*	29.6	21.9	41.4	4.4	2.7
夫の帰りが遅い時、夕食を食べずに待っている	女子	32.4	32.3	22.8	8.2	4.3
	男子*	19.1	16.0	46.1	13.1	5.7
夫のセーターやマフラーなどを編む	女子	29.9	32.5	24.0	9.0	4.6
	男子*	22.2	21.1	51.4	2.3	3.0

\*「やってもらいたい」数値

しかしその筆者ですら、女子中学生の中にまで深く浸透してしまっている、腰かけ就職意識を、目のあたりにすると、何か背筋のゾツとする思いで、同性としてやりきれない気持ちになってしまう。女子中学生は、同じ教室にいて同じ授業を受けていても、そして表面はよく勉強し、やる気に満ちていても、もはや男子とは別の道を歩み始めているのであろうか。

続けて、結婚への夢を追ってみよう。表36のとおり結婚相手の年齢は、女子は1～3歳年上の男性を望む者が67%と最も多く、次いで同じ年20%。昔なら標準だったであろう、4・5歳年上またはそれ以上の年齢の開きを望む者は11%と、がたっとへっている。男子は1～3歳年下の相手を望む者57%。なんとまあつり合いのとれた数値であろう。

## 結婚したら、ひたすら 夫につくしたい

それでは、結婚後の生活として、女子中学生は、どのような生活(夫婦の関係)を思い描いているのだろうか。

表37は、「夫より早く起きて朝食の仕度をする」など、いわゆるひたむきで献身的な、しかし現代ではすでに失われてしまった「カワイイ女性像」を示し、それぞれ「とてもやってあげたい」から「絶対やりたくない」までの5段階で答えさせた結果である。

「とても・わりとやってあげたい」とする妻としての献身志願者は

(カッコ内男子)

「朝食の仕度」……………91% (89%)

(表38) 成績×相手にしてあげたいこと (女子)

●夫より早く起きて、朝食の仕度をする

(%)

	とても やってあげたい	わりと やってあげたい	どちらとも いえない	あまり やりたくない	絶対 やりたくない
クラスで上位	59.5	28.1	8.3	3.1	1.0
中の上	63.0	31.3	4.5	1.2	—
中	58.3	32.9	6.6	2.3	0.5
やや・かなり できない方	56.3	34.3	6.2	1.8	1.4

●夫の帰りが遅い時、夕食を食べずに待っている

(%)

	とても やってあげたい	わりと やってあげたい	どちらとも いえない	あまり やりたくない	絶対 やりたくない
クラスで上位	29.2	22.9	22.9	15.6	9.4
中の上	31.6	36.1	22.5	6.1	3.7
中	31.7	31.4	23.9	9.4	3.6
やや・かなり できない方	34.3	33.1	21.9	6.2	4.5

- 「お弁当」……………82% (71%)
- 「見送り」……………77% (52%)
- 「夕食を待つ」……………65% (35%)
- 「セーターを編む」……………62% (43%)

という驚異的な数字となっている。

これらが、社会の中に出てガンバルことをオリエてしまった女の子たちが、自分の結婚後の家庭の中に「生きがい」を見いだし、プロの専業主婦としてやっていこうとしている結果であれば、それはそれで評価することもできよう。しかし前出の、「専業主婦に向いていると思うか」に対する答えが、「あまり向いていない」28%、「全く向いていない」28%であったことや、現在のお手伝いの実態を表した結果を思い出すと、この彼女たちの「つくし型ワイフ」の願望は、主婦や妻としてのプロ意識からと言うよりも、自分の頭の中で一方的に作り上げている「カワイイ奥さん」像から出てくるものにすぎないという気もする。

その証拠には、同じ項目を男子に提示して、

「どのくらい奥さんにしてもらいたいですか」とたずねてみても、カッコの中に示したように全項目で、女子より低い数字が返ってきている。



また、この結果の一部を成績別に示したのが表38である。これまでしばしば差の見られた成績の上下とも、ほとんど関係なく、とにかくどの女の子もひたすら「やってあげたい」と望んでいる様子は、女性である筆者らにはほほえましいと言うより、いささかげんなりという感じがする。



## 2. こんなタイプの女の子に

(表39) 男子に人気のある女の子のタイプは

(%)

	とても よくできる	まあできる	ふつう	あまり できない	全然 できない
 勉強は					
→女子	10.4	50.9	36.6	1.9	0.2
→男子	7.2	39.1	51.4	1.4	0.9
 スポーツは					
→女子	34.7	46.0	17.7	1.1	0.5
→男子	14.4	37.8	45.2	2.1	0.5

### 男子にモテる女の子は 何でもほどほどに

このように見てくると、女子中学生には既に、異性が自分たちに何を期待しているかを、敏感に感じとるようになっている気配が見られる。そして彼女たちは、実際に男の子たちが期待している以上に、ある意味で女の子らしい(男性にとって好ましい)女の子になろうとしているかのようである。

ではそのあたりにもう一步踏み込んでみることにしよう。彼女たちが、心の片すみで理想としている女性像、言い換えれば、男の子たちからモテる(人気のある)タイプとは、いったいどんな女の子だと考えられているのだろうか。

表39は、「あなたと同じ年ぐらいの男の子に人気のある女の子は、どんなタイプだと思いますか」とたずねた結果である。なお表の下

段には、男子に対して「どんなタイプの女の子が好きですか」とたずねたものを載せてある。

単純に考えれば、人間として評価されるには勉強にしても、スポーツにしても、「とてもよくできる」に越したことはないと思われるが、結果を見ると、必ずしもそうではない。まず、女子が男子にいちばん脅威を与えられるのは、「成績のよいこと」であろう。この点については、「とてもよくできる子がモテるだろう」と考えている女の子は10%に過ぎない。「できない方がいいだろう」と思っている女子は、さすがに2%しかいないが、「まあできるほう」51%、「ふつう」37%と、あくまでも男子に負担を感じさせない程度の成績の女の子がモテるだろうと考えられている。すなわち、「勉強ができないのはだめだけれど、といって、よくできすぎるのもいけない。ふつうかまあできるくらいの女の子でいいのでは」というところだろう。

(表40) 男子に人気のある女の子のタイプは

(%)



女子  
顔は  
男子

とても美人	やや美人	ふつう	美人というよりはカワイイ	とてもカワイイ
8.9	20.1	14.9	43.5	12.6
12.0	20.4	25.0	32.4	10.2

(%)



女子  
スタイルは  
男子

とてもスラッとした	まあスラッとした	ふつう	どちらかといえばグラマーな	とてもグラマーな
11.9	36.0	40.0	10.7	1.4
8.4	29.5	51.2	9.1	1.8

しかしスポーツについては、たとえよくできて、男子に脅威を与えるほどの力は持っていないと考えられているらしい。全体として成績よりもずっとよい方へ分布していて、「よくできる」が35%、「まあできる」をあわせると、81%にも達する。

次に容姿の評価はどうか。表40が示すように、やや人に圧迫感を与える「美人」よりも、人間味を感じさせる「カワイイ子」の方が、圧倒的に選択されていて、美人29%、カワイイ子56%となっている。これはいわゆる女子マンガの主人公のキャラクターとも一致していて面白い。女子マンガに登場する美人は一種の憎まれ役で、美人だが心が冷たく、はじめヒーローは、美人に心をひかれていたが、やが後にその欠点に気づいて、ドジでカワイイ主人公の方に、気持ちを向けるようになる、というパターンが、よく見られるのである。

最後に性格について、見てみよう。ここでも例によって、「とても」は敬遠され

ていて、「ドジでおとなしい」よりは「活発でしっかりしている」タイプがモテると思うけれど、「とても」ではなくて「わりと」であることが重要であるらしい。「とてもしっかりしていたり、とても活発」ではモテないが、「わりとしっかりしていて、わりと活発な」つまり、まあまあの、ほどほどの子であることが、大切な条件であるらしい。

表42は、これらを学年別に見たものであるが、1年から2年になると、「勉強の得意な女の子や性格がしっかりした女の子は男子にモテない」と思う生徒が増えてきている。残念ながら、サンプルが中学1・2年だけなので、このような女の子の心の内の推移をいまひとつ明らかにすることはできないが、彼女たちのオリズムが、どうやらこのあたりから始まりつつある気配もする。

またここには掲げなかったが、教育期待とのクロスをとると、4年制大学まで進学するつもりで成績のよい女の子でも、そうでない

(表41) 人気のある女の子の性格は

		(%)				
		とても	わりと	半分半分	ちょっと	とても
しっかりした	女子	10.4	38.1	32.4	16.7	2.4
	男子	14.0	45.3	31.0	8.6	1.1
活発な	女子	28.2	45.3	20.1	6.0	0.4
	男子	16.6	37.7	34.6	9.7	1.4
まじめな感じの	女子	2.8	15.5	52.7	22.9	6.1
	男子	6.1	25.3	47.6	19.0	2.0

(表42) 学年×男の子に人気のある女の子のタイプはどのようなタイプだと思うか (女子)

●勉強は (%)

	とてもよくできる	まあできる	ふつう あまり ぜんぜん できない
1年	13.2	52.2	34.6
2年	6.0	48.8	45.2

●性格は (%)

	とても わりと	しっかりした	半分半分	とても ちょっと	ドジな
1年	51.2	32.2	16.6		
2年	44.0	33.3	22.7		

女の子と同じように、「とても成績のよい女子は、男子にモテないだろう」と考えている様子が見られる。

アスピレーションが高く、男子に匹敵する(またはしのぐ)ほどの能力をもった女の子たちが、心のどこかで「こんなタイプでは、男の子に受け入れられそうもないけれど、大丈夫だろうか」という不安をもっているとしたら、何ともかわいそうな気がする。

もし、立場をかえて「どんな男の子が好きですか」と女子中学生に質問したとすればたぶん「バッチリ頭が良くて、スポーツマンでやさしくてカッコイイ人」というような答えが返ってくるだろう。勉強もスポーツも「すぐれている」より「ふつう」が良いとは、間違っても答えないと思う。異性からの期待を敏感に感じとりつつある女子中学生たちは、能力があること、特に知的能力がすぐれていることは、いわば男の子たちを敵にまわすことであり、必ずしも得ではないということをう

すうす感じ始めているのであろう。

このレポートでわれわれは、オリることが必ずしも悪い適応のスタイルではないと言いつつも、あまりに早い時期にオリようとしている女の子たちに対して、どこか非難めいた口調を隠し切れなかったような気もする。しかし考えて見ると、オリずにはがんばるのは、なんとむづかしいことだろう。まず毎日の勉強における苦しい努力の積み重ね。男子だったらそれだけで済むが、女子の場合、それによって男の子たちのおおかたの支持を失い、冷やかな目なざしを受けることになる。それに耐えられるだけの自我力を持っていないと、この世界は二重に耐えがたいものとなるだろう。それよりも、早めにオリてしまうことの方が、どれだけ楽で安心感がもてるであろう。そう考えてみると、オリかけている女子中学生の心情に、何か同情を禁じ得ない気もしてくる。

以上、女子中学生たちの生活や意見のいくつかの側面を明らかにしながら、彼女たちのオリズムとその背景となっている条件に接近を試みてきた。数々のデータから浮かびあがってきたことは、女子中学生たちが、女性である自分をどう受け入れ、女性としての自己実現をどう目指すべきなのか、その迷いと悩みの中で、多分にゆれ動いている姿であった。

第I章で見てきたように、確かに彼女たちは、社会的達成や職業的達成からオリかけている。しかしこれが、女子に限ったことではないらしいことも、われわれは見いだした。女子生徒と同じように、男子生徒もまたオリかけている。オリざるをえない社会状況があると言うか、アイデンティティの確立が、うまくいかない種々の社会的条件がわれわれの周囲にあるのであろう。

しかし同じようにオリズムが彼らを支配したとしても、女子と男子では、そのオリかたが違うのではなからうか。男子生徒は、高い社会的職業的達成からオリるだけで、決して達成そのものからオリてしまうわけではない。あくまでも彼らの自己実現のしかたは、ほぼ職業を通じてのものであろう。

しかし女子生徒たちは違う。アイデンティティの確立に悩んだ末に、彼女たちは、社会的職業的達成そのものからオリてしまって、男性のフォロワー(妻)としてまたは子どもの母親としてのコースを選択してしまう。しかもそうしたコースが、ひとつの積極性と主体性をもって選択されるのでなくて、シビアナ現実からの逃避のメカニズムに支えられてのものであるらしい点が、気がかりである。妻

や母親の地位にいて、その役割を十分に果たすには、それなりの技術も哲学も必要であり、そのための努力も必要なはずである。しかし彼女たちは、それが誰にもできて、能力や努力を要しないで手に入れられる理想の逃げ道のように考えているふしがある。

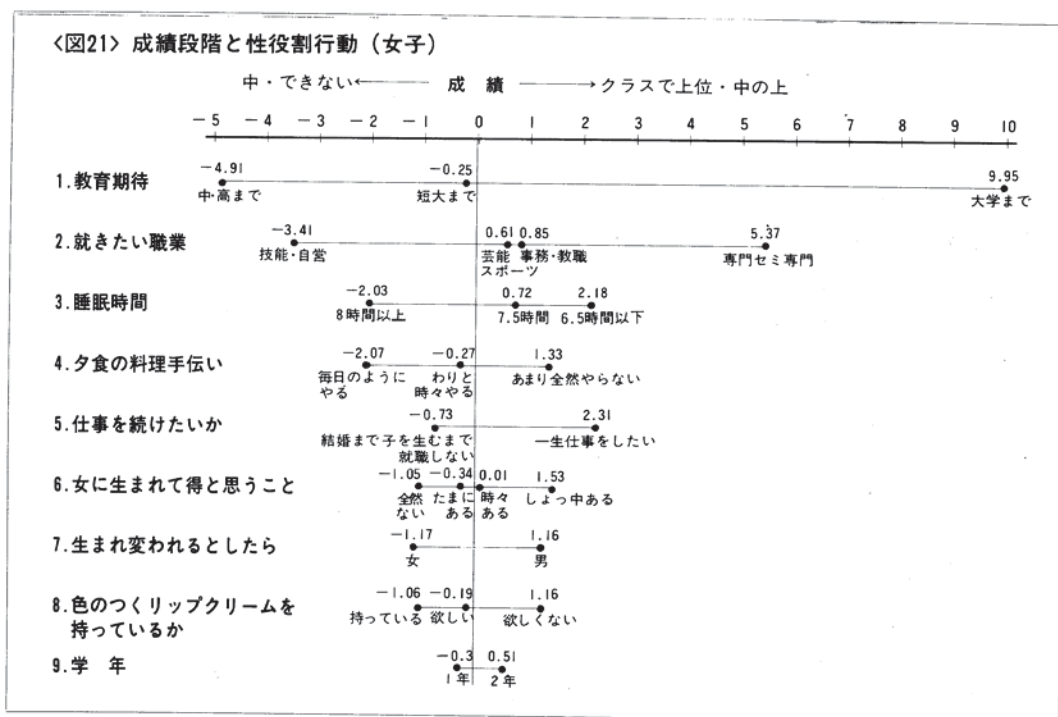
しかしわれわれの社会では、女子中学生も含めて、女性の生き方の、なんとむずかしいことだろう。男性の場合は、男性である地位をどう受け入れるかに、あらかじめの場合、問題は無い。彼らはただひとつの地位を受け入れるだけでよいのである。

しかし女性の場合は、そうではない。彼女たちは、人生のある時期(子ども時代)まで、いわば男性と同じように生きてきた後で、途中からもうひとつ女性として生きるという選択肢を提示される。しかもその時は、いずれをとるか自由な選択が許されるかに思えるし、うまくバランスをとりながら、二つの生き方を両方とも選択できるようにも思えるが、その後でおおかたは、女性としてだけの選択に、追いやられてしまう。たとえば第I章に挙げたように、大学院を出て公務員として、社会的達成を目指していた女性が、結婚と同時に退職し、夫の仕事の都合を優先させ、主婦業に専念してしまった例などが、それであろう。最後にきてオリてしまって、女性役割だけに専念するのであれば、もっと早く、たとえば高卒で、また大卒で、そうしたコースを選択していても結局同じことだったのでないか、という感慨を外野としてはすて切れなくなる。

女子中学生たちは、こうした女性としての運命と課題に、今気づいたところである。女

性としての自分をどう受け入れるか。当分今までのように、いわば男性のように生きつづけようとするか、それとも早くも全面的にオリエットして、女性として生きることだけに、チャンネルを切り換えるか。それとも男性と

女性の生き方を両方、つまり男性性と女性性とをバランスよく自分の中に保ちつづけようと努力するか。彼女たちは今、その選択をせまられているのである。



### ゆれる時代の 中において

ここでもう一度データに戻って考えてみるならば、図21に示されたように（この図は数量化理論第II類を使用し、これまでのデータをまとめて処理したものである）成績をキー

にして考えてみると、成績のよい女子は、男性役割をとり続けようとし（大学まで進学し、専門職につき、一生仕事を続けたい）また今でも男性役割をとり続けていて、（睡眠時間は短く、多分長時間勉強し、料理の手伝いはせず、リップクリームは欲しくない）生まれ変わったら、今度は男性になりたいと願っている。

ところが成績が中位かできない方の女子は将来女性役割をとろうとしており（中学か高校までで学校をやめ、技能職につき、腰かけ就職を望む）現在もそちらに切りかえていて（睡眠時間は長く、手伝いをよくし、リップクリームを持っている）また生まれ変わっても女性であり続けたいと望んでいる。

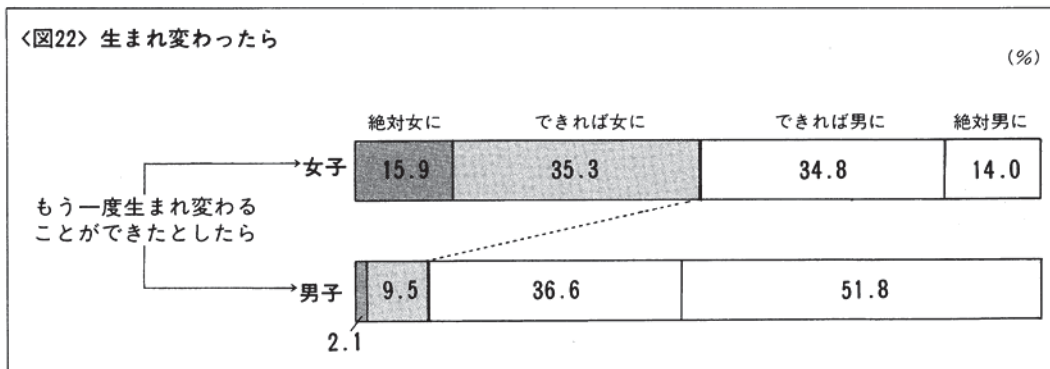
このように見てくると、女子中学生たちは今、こうした選択に踏み切るべきか、これまでのコースを歩むべきか、または将来計画としてどういう選択をすべきか、まさに心のゆれ動く時期を迎えていると言えるだろう。そしてむろん、ある者はオリてしまったし、ある者は今オリつつあり、ある者はそれを思索しつつある、というように、同じ制服を着ていても、彼女たちの歩き始めている道はすでに同じではない。しかしただひとつ言えることは、現在彼女たちがどのような選択をしているにせよ、確信をもってそうしている女子生徒は、ごく少ないのではないか、ということである。

たとえば、図22は、社会調査で、性役割の

受容度を見るために使われている項目「もう一度生まれ変わることができるとしたら、男女どちらに生まれ変わりたいですか」を用いた質問の結果である。

女子生徒の場合、「できれば」も含めて、女性への生まれ変わりを希望している者の割合は51%、女性役割を受け入れられない者49%という結果である。これは男子の場合、自分の性別の性役割（男性役割）を受け入れている者が88%という圧倒的な数字にくらべると、かなり低い割合になっている。

またその内容を見ると、男子の場合「絶対に」が52%で、「できれば」という受容度のやや低い者の割合37%を、大きく上まわる数字になっているが、女子はそうではない。女性役割を受け入れている者が51%と言っても、そのうち「絶対に」はわずか16%、やや受容度の弱い「できれば」が、35%と、男子の場合とはっきり逆転している。女子生徒の場合、いずれの選択にせよ、迷いなしにはなしえないものなのであろう。



さて最後に、これまで見てきた女子中学生のオリズムをめぐる状況の中で、この問題をどう考えたらよいか、われわれなりのまとめをしてみよう。

女性として生まれたと言う生物学的な運命を、私たち女性は変えることができない。しかし、かつての私たちの母や祖母たちの時代と違って、今女性たちの社会的な生き方には、いくつもの選択の自由が与えられている。社会的に男性として生きることも可能なら、伝統的な女性役割をそのまま享受して、女性として生きることも、自由である。そのどちらをとるのも、個人にまかせられるべきであろう。しかし決して全部ではないとしても女性たちの大部分にとって、個人的にもいちばん幸せで社会的にも安定した生き方とは、完全に男性として生きる、または女性として生きる、という二者択一ではなくて、ひとりの女性の中に、男性性と女性性が、バランスよく保たれること、すなわち男性として生きる部分と女性として生きる部分を、調和的に保っていくことであろう。

しかしこれは、そうたやすく実現できることではなさそうだ。途中まで、全く男の子と同じように扱われ、教育され、行動してきた

(いわば男性として生きてきた) 女の子たちが、少しずつ、無理なく、部分的に女性性をとり入れて行くためには、いずれの時期からか、われわれおとなが、そのとり入れを援助し、サポートしてやらなければならない。しかし大切なのは、それらの援助やサポートが、彼女たちを、一日も早く、完全に女性役割だけをとる存在に転換させてしまうためのものではなく、むしろ逆に、あまり早くそうなり過ぎないための、援助でありサポートを旨とする点にあらう。最後の最後まで(個人的な好みによってその比重に差はあっても)女性に、両性をバランスよく共有した存在であり続けさせる、その理想と目標を忘れてはならないだろう。

そのように考えてくると、中学生の段階で女子生徒たちが、男子との競争をオリエてしまう状態は、早すぎて危険な(人間としての成熟をもたらさない)生き方であると、断言していいのではないだろうか。

わが国の男女共学のシステムはすでに30年余を経過した。このあたりでわれわれは、女子に対する教育のあり方の議論を避けて通らずに、もう一度見直してみる必要があるのではないだろうか。



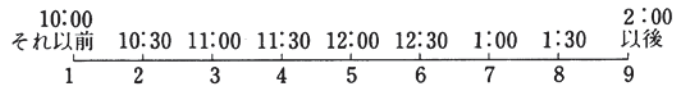
■ 調査票見本 (女子中学生を対象としたアンケートの見本です)

① まず学校名などを書いてください。

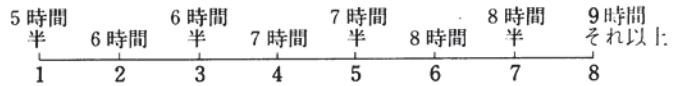
- ① 学校名 ( ) 中学校
- ② 学 年 ( ) 年
- ③ 性 別 (1. 男 2. 女)
- ④ 部活動 (放課後)
  - 1. 今入っている → 1. 文化系 2. 運動系
  - 2. 入っていたがやめてしまった → 1. 文化系 2. 運動系
  - 3. 入ったことがない

② あなたの、この一週間の生活についておききします。(日曜日は除きます)

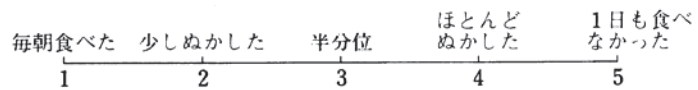
- ① 夜、平均何時ごろねましたか。(10:30とは10時30分のことです)



- ② すいみん時間は平均どの位でしたか。

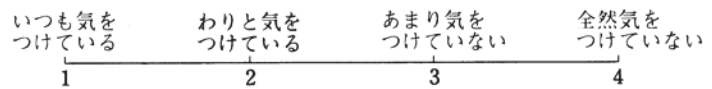


- ③ 朝食を毎朝食べましたか。



- ④ 朝食はどんな食事が多かったですか。
- 1. 全然食べなかった
  - 2. 飲み物だけか、何かつまんだ程度
  - 3. 一応、朝食をとった
  - 4. 朝食をしっかり食べた

- ⑤ あなたは今、太らないようにするために、食事や間食を抜かしたり減らしたりしていますか。



③ あなたのふだんの生活についておききします。

- ① 朝はどんなふうに起きますか。
- 

- ② お風呂には週何回位入りますか。
- 

- ③ 髪の毛は何日に1回洗いますか。…… 平均( )日に1回位

- ④ 髪の毛を洗った時にリンスをしますか。
-



## ■ 調査票見本

⑤ 顔を洗った後、化粧水やクリームをつけますか。

	毎日	時々	ごくたまに	つけない
	1	2	3	4

⑥ 自分の下着やハンカチやソックスなどを洗たくしますか。

	ほとんど自分で	時々自分で	家族のものと一緒に洗ってもら
	1	2	3

④ あなたは次のようなことをどの位やっていますか。

	毎日のようにやっている	わりとやっている	ときどきやっている	あまりやらない	全然やらない
① 夕食の時の料理の手伝い	1	2	3	4	5
② 夕食の茶わん洗い	1	2	3	4	5
③ 夕食の茶わんふき	1	2	3	4	5
④ 家族の衣類の洗たく	1	2	3	4	5
⑤ 家族の衣類の洗たくものたたみ	1	2	3	4	5
⑥ 家族の衣類のアイロンかけ	1	2	3	4	5
⑦ 家族のくつみがき	1	2	3	4	5
⑧ 自分の部屋(自分のコーナー)のそうじ	1	2	3	4	5
⑨ 玄関のそうじ	1	2	3	4	5
⑩ 居間(お茶の間)のそうじ	1	2	3	4	5
⑪ 夕食のための買物(お使い)	1	2	3	4	5

⑤ あなたは中学生の制服についてどのように思いますか。

	とてもそう思う	わりとそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	全然そう思わない
① 制服は学生らしくてよいと思う	1	2	3	4	5
② 制服があると何を着るか考えなくてよいので便利である	1	2	3	4	5
③ 制服があると洋服代がかからず経済的である	1	2	3	4	5
④ 制服があると学校全体として統一がとれる	1	2	3	4	5
⑤ 制服があると盛り場などへ行けないので非行防止に役立つ	1	2	3	4	5
⑥ 制服を着ると中学生としての自覚ができる	1	2	3	4	5
⑦ 制服は活動しにくい	1	2	3	4	5
⑧ 制服があると服装のセンスが育たない	1	2	3	4	5
⑨ 制服はあまり洗たくをしないので不潔だ	1	2	3	4	5
⑩ 制服があると先生や学校に管理されているような気がする	1	2	3	4	5

■ 調査票見本

⑥ 現在の中学生の制服について、あなたはどのように思いますか。

	絶対 あった 方がよい	まあ あった 方がよい	できれば 廃止した 方がよい	絶対 廃止した 方がよい
① 男子の制服	1	2	3	4
② 女子の制服	1	2	3	4

⑦ あなたは制服に次のようなくふうやオシャレをしていますか。

	はい	いいえ
① 上着のたけを長め(短め)にしている	1	2
② スカートのヒダを増やしたりしている	1	2
③ 決められた形式とちょっと違う色や形のシャツを着ている	1	2
④ 腕まくりをしたりボタンをはずしたりして、少し他の人とはちがった着方をしている	1	2
⑤ ソックスの色やマークや折り方などに気を配っている	1	2
⑥ 学校には、ブラシやくしを持っていつている	1	2

⑧ あなたは次のような物を自分用として持っていますか。

	現在 持って いて 使 って い る	持 っ て い る が 使 っ て い な い	持 っ て い な い が 欲 し い と 思 う	持 っ て い な い し も 欲 し く も な い
① 化粧水や乳液	1	2	3	4
② 透明なリップクリーム	1	2	3	4
④ 口紅	1	2	3	4
④ ほんの少し色のつくリップクリーム	1	2	3	4
⑤ オーデコロン	1	2	3	4
⑥ 透明なマニキュア	1	2	3	4
⑦ 色のマニキュア	1	2	3	4
⑧ イヤリング	1	2	3	4
⑨ プレスレット	1	2	3	4
⑩ (肌色の)ストッキング	1	2	3	4

⑨ あなたの身長や体重についておききします。

- ① あなたの現在の身長は ( 1 m ) cm  
 ② あなたの現在の体重は ( ) kg

■ 調査票見本

③ 自分の身長についてどう思いますか

もっと 高く なりたい	少し 高く なりたい	ちょうど よい	少し 低く なりたい	もっと 低く なりたい
1	2	3	4	5

④ 自分の体重についてどう思いますか

もっと 太りたい	少し 太りたい	ちょうど よい	少し やせたい	もっと やせたい
1	2	3	4	5

⑤ ④で少しやせたい、もっとやせたいと答えた人は  
何kg位やせたいですか。( ) kg位

⑥ では、おとなになった時のあなたの理想の身長は ( 1 m ) cm位

⑩ あなたは何でも相談できる女の子の親友がいますか。

いない	1人いる	2~3人 いる	4~5人 いる	それ以上 いる
1	2	3	4	5

⑪ ボーイフレンドのことについて聞かせてください。

① あなたは、今、1対1でつきあっているボーイフレンドがいますか

いる	いない
1	2

② (①で“いない”と答えた人に)  
では、今、できたら、1対1でつきあいたい人がいますか

いる	いない
1	2

③ (②で“いない”と答えた人に)  
では、今、1対1でつきあうようなボーイフレンドがほしいですか。

ほしい	ほしくない
1	2

⑫ (あなたと同じ年ぐらいの男の子に) 人気のある女の子はどんなタイプだと思いますか。

① 勉強は.....

とても よく できる	まあ できる	ふつう	あまり できない	全然 できない
1	2	3	4	5

② スポーツは.....

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

③ 顔は.....

とても 美人	やや 美人	ふつう	美人という よりは カワイイ人	とても カワイイ人
1	2	3	4	5

④ スタイルは.....

とても スラッ とした	まあ スラッ とした	ふつう	どちらかと いえば グラマーな	とても グラマーな
1	2	3	4	5

■ 調査票見本

⑤ 人気のある女の子の性格は下のどれにあてはまるとおもいますか。

	とても	わりと	半分 半分	ちょっと	とても	
1. しっかりした	1	2	3	4	5	ドジな
2. 活発な	1	2	3	4	5	おとなしい
3. まじめな感じの	1	2	3	4	5	調子のいい

13 ブルーディ(生理の日)についておききます。

① ブルーディが始まったのは何年生の時でしたか。

1. まだない
2. 4年生(またはそれ以前)
3. 5年生
4. 6年生
5. 中1
6. 中2, 中3

② あなたのブルーディは平均何日続きますか ( ) 日位

③ ブルーディに、どうも勉強の能率がおちるように感じる日がありますか。

1. 全然ない
2. あまりない
3. ある → ( ) 日位

④ ブルーディに、できるだけスポーツをしないようにしている日がありますか。

1. 全然ない
2. あまりない
3. ある → ( ) 日位

13

⑤ ブルーディに、腰が痛んだり、おなかが痛んだりするような日がありますか。

1. ほとんどない
2. 少しある
3. とてもひどい日がある

⑥ 生理用品を忘れてしまって、友だちに借りたことがありますか。

1. 何回かある
2. 1・2度あった
3. 1度もない

⑦ ブルーディの悩みなどを友だちと話したりすることがありますか。

1. わりとある
2. すこしある
3. 全然ない

■ 調査票見本

14 あなたは、どんな職業に向いている人だと思いますか。

なれる、なれないは別として、向いているかどうかを判断してみてください。

	とても 向いている (ぴったり)	まあ 向いて いる	あまり 向いて いない と思う	全く向いて いないと 思う
① 保母や幼稚園の先生	1	2	3	4
② 小学校の先生	1	2	3	4
③ 中学校の先生	1	2	3	4
④ 大学の先生	1	2	3	4
⑤ ピアノ・書道・お花などの先生	1	2	3	4
⑥ スチュワーデス	1	2	3	4
⑦ OL	1	2	3	4
⑧ デザイナー	1	2	3	4
⑨ 看護婦	1	2	3	4
⑩ 校長先生(小・中学校の)	1	2	3	4
⑪ 喫茶店・ペット店などの経営者	1	2	3	4
⑫ 歌手などのタレント	1	2	3	4
⑬ スポーツ選手	1	2	3	4
⑭ 医者	1	2	3	4
⑮ 国会議員や市長などの政治家	1	2	3	4
⑯ 商店などのおかみさん	1	2	3	4
⑰ 専業主婦	1	2	3	4
⑱ ずっと独身で専門的な仕事にうちこむ	1	2	3	4

15 あなたは、毎日学校から帰って来て、何時間位勉強しますか。

宿題、予習、その他全部あわせて ( ) 時間位

16 次の5教科の勉強はあなたにとって、どの位やる気がしますか。

	かなり やる気が する	まあ やる気が する	何とも 言えない	あまり やる気が しない	全然 やる気が しない
① 英語	1	2	3	4	5
② 数学	1	2	3	4	5
③ 国語	1	2	3	4	5
④ 理科	1	2	3	4	5
⑤ 社会	1	2	3	4	5

17 あなたは、試験勉強(中間や期末)を、どんなふうにやりますか。

① 何日前ぐらいから、試験のための勉強を始めますか。 ( ) 日前から

② 試験のために徹夜(ほとんど寝ない)で勉強することがありますか。

よくある	時々ある	ほとんどない	一度もない
1	2	3	4

■ 調査票見本

18 将来どんな生活や仕事をしたいと思いますか。

- ① 結婚をするつもりですか。
- |  |           |             |             |                  |                 |
|--|-----------|-------------|-------------|------------------|-----------------|
|  | 絶対<br>したい | できれば<br>したい | どちら<br>でもよい | あまり<br>したく<br>ない | 絶対<br>したく<br>ない |
|  | 1         | 2           | 3           | 4                | 5               |
- ② 結婚するとしたら何歳位で結婚したいと思いますか。
- 1(18歳以下) 2(19~20歳) 3(21~22歳) 4(23~24歳) 5(25~26歳) 6(27~28歳) 7(29歳以上)
- ③ その時の結婚相手の年齢は
- |  |           |            |            |     |            |            |           |
|--|-----------|------------|------------|-----|------------|------------|-----------|
|  | ずっと<br>年下 | 4・5歳<br>年下 | 1~3歳<br>年下 | 同じ年 | 1~3歳<br>年上 | 4・5歳<br>年上 | ずっと<br>年上 |
|  | 1         | 2          | 3          | 4   | 5          | 6          | 7         |
- ④ 結婚したら子どもがほしいですか。
- |  |           |             |             |                  |                 |
|--|-----------|-------------|-------------|------------------|-----------------|
|  | 絶対<br>ほしい | できれば<br>ほしい | どちら<br>でもよい | あまり<br>ほしく<br>ない | 絶対<br>ほしく<br>ない |
|  | 1         | 2           | 3           | 4                | 5               |
- ⑤ ④で絶対ほしい、できればほしいと答えた人は、何人ほしいと思いますか。
- 男の子 ( ) 人      女の子 ( ) 人  
合計 ( ) 人
- ⑥ 就職(仕事)をするつもりですか。
1. 一生仕事を続けたい
  2. 子どもが生まれるまで続けたい
  3. 結婚するまで続けたい
  4. 就職はしたくない
- ⑦ あなたは将来どんな職業につきたいですか。

19 あなたは結婚したら、相手に次のようなことをどの位やってあげたいと思いますか。

- |                         |                    |                    |                   |                   |                    |
|-------------------------|--------------------|--------------------|-------------------|-------------------|--------------------|
|                         | とても<br>やって<br>あげたい | わりと<br>やって<br>あげたい | どちら<br>とも<br>いえない | あまり<br>やりたく<br>ない | ぜったい<br>やりたく<br>ない |
| ① 夫より早く起きて、朝食のしたくをする    | 1                  | 2                  | 3                 | 4                 | 5                  |
| ② 夫のために毎日お弁当をつくる        | 1                  | 2                  | 3                 | 4                 | 5                  |
| ③ 夫が出勤する時、玄関まで見送る       | 1                  | 2                  | 3                 | 4                 | 5                  |
| ④ 夫の帰りが遅い時、夕食を食べずに待っている | 1                  | 2                  | 3                 | 4                 | 5                  |
| ⑤ 夫のセーターやマフラーなどを編む      | 1                  | 2                  | 3                 | 4                 | 5                  |

20 あなたは結婚したら、あなたの両親といっしょに(又は近くに)住みたいですか。

1. かなり遠くに離れて住みたい
2. 歩いて5分か10分位のところに住みたい
3. 隣の家に住みたい
4. 同じ家に住みたい

21 将来、仕事をしているあなたに、子どもが生まれることになったとします。しその時あなたは、

1. 他人(親や保育所)にあずけるより、仕事をやめて自分の手で育てたい。
2. できればどちらかの親にあずけて、仕事をつづけたい。
3. できれば保育所にあずけて、仕事をつづけたい。

■ 調査票見本

22 あなたは、あなたの両親の老後の世話をどの程度してあげたいと思いますか。

- ① あなたの両親が生活に困ったとしたら
1. 自分達の生活を切りつめても面倒をみてあげたい
  2. 自分達の生活によゆうがあれば面倒をみたい
  3. 親と子は別なので、親の方でなんとかしてもらいたい
- ② あなたの両親が、近くに住んでいて寝た切り老人になったとしたら
1. 自分の家にひきとってつきっきりで世話をしたい
  2. 自分も通って世話するが、看護人を頼んで世話をお願いしたい
  3. 病院などに入院させてあげたい

23 あなたのご両親の職業をおききします。

- ① あなたのお父さんの職業は
1. サラリーマン・公務員・先生など
  2. お店や工場をやっている
  3. 工場やお店で働いている
  4. 医者や弁護士などの専門職
  5. その他
- ② あなたのお母さんは
1. 専業主婦
  2. パートなどで(外で少し)働いている
  3. 毎日働きに行っている
  4. 家業(あなたの家のお店など)を分担している

24 あなたの将来のことをおたずねします。

- あなたは将来、学校はどこまで行きたいと思っていますか。
1. 中学でやめるつもり
  2. 高校まで行くつもり
  3. 短大か専門学校まで行くつもり
  4. 4年制大学まで行くつもり

25 次のように思うことがありますか。

- ① 女に生まれてきて「損をした」と思うことがありますか。
- |                 |          |           |           |          |
|-----------------|----------|-----------|-----------|----------|
| しよ<br>ちゆう<br>ある | 時々<br>ある | たまに<br>ある | あまり<br>ない | 全然<br>ない |
| 1               | 2        | 3         | 4         | 5        |
- ② では、女に生まれてきて「よかった」と思うことがありますか。
- |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|
- ③ もう1度生まれ変わることができたら、男女どちらに生まれ変わりたいですか。
- |          |            |            |          |
|----------|------------|------------|----------|
| 絶対<br>女に | できれば<br>女に | できれば<br>男に | 絶対<br>男に |
| 1        | 2          | 3          | 4        |

26 最後に、あなた自身のことをうかがいます。

- ① 勉強は.....
- |            |     |   |             |              |
|------------|-----|---|-------------|--------------|
| クラスで<br>上位 | 中の上 | 中 | ややでき<br>ない方 | かなり<br>できない方 |
| 1          | 2   | 3 | 4           | 5            |
- ② 友人数は.....
- |       |       |     |       |        |
|-------|-------|-----|-------|--------|
| とても多い | かなり多い | ふつう | やや少ない | かなり少ない |
| 1     | 2     | 3   | 4     | 5      |
- ③ スポーツは.....
- |        |        |     |        |        |
|--------|--------|-----|--------|--------|
| とてもとくい | かなりとくい | ふつう | わりとにがて | とてもにがて |
| 1      | 2      | 3   | 4      | 5      |